

今週（4月12日から4月16日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、引き続き調達ニーズの強い展開となった。16日は新しい積み期間に入ったことで、レート水準が若干低下した。無担保コールO/N物は、積み最終週となったことで、一部に調達を控える先が見られた。15日までの無担保コールO/N加重平均レートは、▲0.013～▲0.01%と先週比で若干低下しての推移となった。16日から新積み期となり、レート水準が若干低下したものの、各業態における調達ニーズは強い状態が続いた。ターム物に関しては、1W～2W物を中心に▲0.01～0.00%近辺での出合いが散見された。日銀当座預金残高は、14日までは517兆円前後での推移となり、15日以降は年金定時払いの影響が大きく、526兆円近辺まで増加した。

●レポ市場

今週の債券レポ市場は、積み期間が切り替わる週となり、投資家のオファーニーズがやや減退し、レートは不安定で低下しやすい地合いとなった。12日のT/Nは▲0.10～▲0.085%の出合い。13日のT/Nは▲0.115～▲0.09%となった。14日のT/Nは積み期間最終日の受け渡しであったが、投資家のオファーニーズがしっかりととなり、レートは上昇して▲0.09～▲0.085%の出合いとなった。15日のT/Nからは新しい積み期間となり、投資家のオファーニーズが若干後退したことで再びレートが低下し、▲0.105～▲0.09%の出合いとなった。16日T/Nは短国の発行日に当たったものの、レートは上昇せず、▲0.10%前後の出合いとなった。

SCについては、5y 140～145、10y 354～361、20y 169～175、30y 68～69、40y 13にビッドが多くみられた。

●短国市場

今週の短国市場は、短国買入オペが前回比で1兆円の減額となるなど、需給改善の兆しが見られる中、3M物が▲0.100%近辺、6M物が▲0.110%近辺出合いと、堅調に推移した。一方で、1Y物は動意に乏しく閑散なマーケットとなった。

13日に実施された短国買入オペは、前回より1兆円減額の1兆円でオファーされた。市場予想を下回る額ではあったが、平均落札利回較差+0.004%、按分落札利回較差+0.003%と、無難な結果となった。

16日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.098～▲0.097%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.0990%、按分落札利回▲0.0968%と無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは▲0.105%出合いと、しっかりとした推移となった。

●CP市場

今週のCP市場は、期初の再調達が一巡したことで、大型発行が見えられた先週の状況とは打って変わり、少額発行が中心となった。週を通しての発行市場は、償還額2,200億円弱に対し、入札は1社あたりの発行額こそ少なかったものの、営業日毎に一定の件数が実施されたことで、発行額は4,000億円強と、発行超となった。発行総残高は、良好な発行環境の下、22兆3,000億円程度で推移している。先週と比較すると、増加ペースは若干鈍化した。発行レートは、引き続き担保確保のための積極的な買いが見られているものの、2月や3月のように下限を探る状況ではなくなっている。

13日には、CP等買入オペが予定通り4,000億円でオファーされた。4月に入ってからの残高増加による応札が見込まれる一方で、担保の利用を優先して応札を手控える動きも考えられる中、応札額は8,189億円、平均落札レート▲0.021%、按分レート▲0.029%と前回比でいずれも上昇するという結果となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
4/12 (月)	29,538.73	0.105	109.73	△ 0.012	△ 0.086	5,169,800
4/13 (火)	29,751.61	0.100	109.56	△ 0.013	△ 0.111	5,170,800
4/14 (水)	29,620.99	0.085	108.82	△ 0.013	△ 0.087	5,175,300
4/15 (木)	29,642.69	0.085	108.88	△ 0.010	△ 0.089	5,265,400
4/16 (金)	29,683.37	0.085	108.85	△ 0.014	△ 0.095	5,271,700

来週（4月19日から4月23日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
4/19 (月)	3月の貿易統計(財務省 8:50)	TB1Y 35,000億円 4/20発行		
4/20 (火)	2月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	20Y 12,000億円 4/21発行	交付税借入 11,000億円 5/7借入	
4/21 (水)				3月の英消費者物価指数
4/22 (木)	月例経済報告 (内閣府)	TB6M 34,000億円 4/26発行		ECB定例理事会(金融政策発表) 3月の米中古住宅販売
4/23 (金)	3月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 65,000億円 4/26発行	交付税借入 11,000億円 5/11借入	3月の米新築一戸建て販売件数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/19 (月)	▲ 600	8,200	7,600	CP買入 国債補完	▲ 100 200		100	7,700	TB3M発行▲65000償還62800
4/20 (火)	▲ 1,000	▲ 26,000	▲ 27,000				0	▲ 27,000	TB1Y発行▲35000償還12200 エネルギー対策借入▲8000期日8500
4/21 (水)	▲ 2,000	▲ 9,000	▲ 11,000	全店共通	▲ 1,700		▲ 1,700	▲ 12,700	20Y発行▲12000
4/22 (木)	▲ 3,000	3,000	0				0	0	
4/23 (金)	▲ 3,000	18,000	15,000	新型コロナ支援	▲ 27,600		▲ 27,600	▲ 12,600	交付税借入▲11000期日11000
週間合計	▲ 9,600	▲ 5,800	▲ 15,400	—	▲ 29,200	0	▲ 29,200	▲ 44,600	

4/19は日銀予想、4/20以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続き調達ニーズの強い展開が見込まれる。レポ市場は、引き続き資金調達ニーズが薄いことが予想され、GC T/Nは▲0.10%前後の出合いになることが予想される。短国市場は、19日に1Y物、22日に6M物、23日に3Mの入札が実施予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。また、21日に実施が予想される短国買入オペのオフアール額にも注目したい。CP市場は、翌週に控える大型連休を前に、まとまった額の発行案件が増えてくるかどうか注目される。

主要なイベントは、国内では23日に3月の全国CPI、海外では21日に3月の英消費者物価指数、22日にECB定例理事会が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。